



令和2(2020)年度第2学期以降の募集・お知らせ

令和3(2021)年度第2期協定留学プログラム派遣学生募集

本年度10月中旬より、2021年度第2期協定留学プログラム(留学期間:2021年10月～翌年9月／派遣先:アジア・ヨーロッパ)の募集を行います。

募集要項は国際センターホームページ、G-Port及び掲示等で公示しますので、確認してください。

なお、本プログラムで留学した先輩方の報告書をセンター内で閲覧することができます。国際センターのホームページでも報告書を公開しておりますので、ぜひご活用ください。

(<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/abroad/messagefromsenior.html>「留学した先輩からのメッセージ」をご確認ください)

令和2(2020)年度春季短期研修の実施について

国際センターでは春季休業期間中に英語や中国語等の短期研修を実施しています。2020年度については、新型コロナウイルス感染症の影響のため、研修先や実施方法(現地又はオンライン)について検討中です。詳細は決まり次第、G-Port・国際センターホームページ・掲示で案内いたします。



海外留学のための奨学金制度について

本学では、留学に伴う経済的負担を軽減し、できるだけ多くの皆さんが留学等のチャンスを得ることができるよう、さまざまな制度を設けています。各制度の詳細・募集要項は、いずれも国際センターホームページ、G-Port、掲示等により確認してください(独自の奨学金を設けている学部・研究科もあります。詳細は、所属の学部学科事務室にお問い合わせください)。※①～⑤の内容はいずれも予定です、必ず最新情報を確認してください。

海外留学についての奨学金について

本学では、外務省により発出される「危険情報」「感染症危険情報」ともにレベル1以下に引き下げられるまで渡航を原則禁止としています【新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について(第7報)】での、以下の①～③、⑤の奨学金については、募集を見合わせる場合があります(今後状況が改善し募集を行うことになった場合には、掲示・G-Port・国際センターホームページで公示します)。

①学習院大学海外留学奨学金

応募条件	「留学願」が承認されて渡航する者
奨学金額	1名につき年間40万円以内(給付)
採用予定数	延べ80名程度
募集時期	年2回(6月、12月)書類審査

2021年度に留学を開始する方を対象とした第1回の募集については、募集要項を11月に国際センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示する予定です。

なお、本奨学金を受給した先輩方の留学報告書(協定留学・協定外留学)が、国際センターにて閲覧できます。

②学習院大学海外短期研修奨学金

応募条件	夏季・春季休業中に3週間以上の海外語学研修・短期研修に参加する者
奨学金額	1名につき7万円以内(給付)
採用予定数	年間170名程度
募集時期	年2回(9月、2月)書類審査

③学習院大学北米をはじめとする英語圏への留学促進奨励金 **NEW!**

応募条件	本奨学金対象の国際センター主催夏季・春季語学研修に参加する者
奨学金額	1名につき10万円以内(給付)
採用予定数	夏季10名・春季10名程度
募集時期	年2回(夏季:7月、春季:2月)

④学習院大学語学能力試験受験の助成

応募条件	留学のための語学能力試験を受験する者
奨学金額	1名につき1万円以内(給付)
採用予定数	年間80名程度
募集時期	年2回(7月、1月)書類審査

⑤大学院学生の国外における研究発表援助

応募条件	海外で開催される研究集会等で発表を行う大学院生(共同発表を含む)
奨学金額	1名につき10万円以内(給付)
採用予定数	年間35名程度
募集時期	年1回(4月～翌1月) 書類審査

News letter

発行日／2020年10月1日

編集・発行／学習院大学国際センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL.03-5992-1024 FAX.03-5992-1025

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/> ([学習院 IC]などで検索してもヒットします)

<https://www.facebook.com/ic.gakushuin.ac.jp>

※掲載された学生の所属は、

令和2年9月15日現在のものです。



表紙の写真は、本学協定校の一つであるエストニアのタルトゥ大学です。例年数名の本学学生が協定生として派遣されていました。2020年は新型コロナウイルス感染症拡大により未曾有の事態となりました。終息の見えない状況で、なかなか思うように事が進まなかったりします。ですが、明けない夜はないと思います。今このような中皆さんができる事を国際センター一同サポートしていきたいと考えています。

■国際センター運営委員
2020年度(10月1日現在)
運営委員長 山田 澄生(国際センター所長)
運営委員 庄司 香(法学部)
運営委員 宮川 努(経済学部)
運営委員 平田 一郎(文学部)
運営委員 渡邊 匠人(理学部)
運営委員 オニール テッド(国際社会科学部)
運営委員 三井 清(副学長)
運営委員 村主 道美(学生センター所長)
運営委員 加藤 真紀(国際センター)
運営委員 杜 長俊(国際センター)
運営委員 杉田 稔(国際センター事務室課長)

※本紙掲載内容は、2020年9月15日現在のものです。

学習院大学国際センター

International Centre, Gakushuin University



コロナ禍の国際交流について考えること 国際センター教授 加藤 真紀

2020年の初めから新型コロナウイルスが世界的に流行し、渡航を伴う多くの国際交流が中止になりました。私たちの日常も大きく変わりました。感染症流行の厳しい状況の下でポジティブな面があるとすれば、それは私たちが自身や社会の在り方について深く考えるきっかけを得たことです。パンデミック前の日々に戻りたいと願うとき、戻りたくないことは何かと考えることも含めて。

コロナ禍では日本の大学の多くの授業がオンラインで実施されています。海外でも同様です。それでは海外の大学の授業をオンラインで受講すれば、海外留学と考えてよいのでしょうか。頭では分かっていても、私たちの中には「オンライン留学」に違和感を覚える向きもあります。それは留学の目的に関係します。従来の留学の目的の1つは異文化の体験であり、五感を使って実態に触れることがあります。現時点では、海外の空港の匂いは行かないといふかもしれません。Zoomやメールを通じても知識を中心とした伝達はできますが、私たちはそれを超えた経験を留学から得ることに期待したからです。

自身は、学部生の春に1か月間アメリカに滞在しました。
私は、学部生の春に1か月間アメリカに滞在しました。



現地での経験、具体的には、アメリカ西海岸での学びや暮らし、ボストンの路地裏で迷子になること、そして様々な人に出会い友達を作ることは、行かないできません。一方で、この留学を通じて、自分の英語力がいかほどのものかを思い知りました。私にとっては大きな気付きましたが、わざわざ飛行機に乗らなくても分かるだろうと今は思います。

オンラインの国際交流には良い面もあります。渡航を伴う国際交流は航空運賃が下がっても依然として高価で時間を要するのに比べて、オンラインではより手軽に参加できます。オンラインでの外国語学習が既に盛んのように、語学力をつけることもできます。また大学の授業が対面からオンラインに代わってから多くの批判を聞きますが、講義型の対面授業では学生は質問したり意見を述べたりしなかったのに、双方向のオンライン授業ではチャットでの発言が増えるという変化も聞きます。つまり、オンラインでの国際交流は、今までよりも多くの人が参加し、積極的にかかるチャンスを生むとも考えられます。

コロナ終息以降は、大学教育も国際交流も大きく変わると考えられています。どう変わるのかは未だに誰にも分かりません。終息時期によっても学生の皆さんの期待によっても変わるからです。より良い方向は1人1人が深く考えた先にあると思います。国際センターでは、学生の皆さんのが海外との交流を少しでも深められるようサポートしてまいります。



チャットルーム2020 ~ネイティブスピーカーと話しませんか?~

★日頃の勉強の成果をアウトプットしましょう!

★少人数のグループに分かれて行います。

★たくさん外国語を話せるチャンスです!

★語学力は問いません。

★予約不要・途中入退出可です。



2020年度の開催予定 ※開催時間は原則、12:20～14:30

10月、11月、12月 各月1回

詳細な日程が決まり次第、G-Port・国際センターホームページ・掲示板で公示します。



海外協定校からの留学生

令和元(2019)年度 協定留学生より

My year in Japan was marked by many events. The University's staff provided us great help during the installation. We had the chance to be assisted all along. Gakushuin University made many cultural activities we could join, like calligraphy, spectacle, and day trip. Also the teachers are good and understand our situation very well. They are helping us willingly. During the spring vacation I had the chance to travel in the Kansai and visited a lot of cultural location. The second semester was hard, but the difficulties were all linked with the situation. The global pandemic was a subject on every lips, even more the Europe was infected. The university did a great job managing the situation despite those unique circumstances.

I am grateful to Gakushuin University for welcomed me the year.

史学科

Marie CHODZKOさん
フランス・パリ第7大学より
協定留学



Marieは前段右から2番目

協定派遣学生からの寄稿文

大切な思い出の一つは、ルームメイトの存在でした。寮の2人部屋で、9月から11月までトルコ出身、1月はロシア、2月にアルゼンチンの留学生と生活を共にしました。イタリア語が得意なルームメイトは、イタリア語初心者の私にジェスチャー付きで実践的に教えてくれました。大学で仲良くなったモロッコ出身の学生と、講義や街のイベントの情報も共有し一緒に出掛けました。また、外国語専攻のイタリア人学生と大学の学食で、日本語・英語・イタリア語で語りながら夕食を食べたことも貴重な体験となりました。付け加えて、トリノで開催されたフィギュアスケートの世界大会で、羽生結弦選手の4回転を見ることができました。急な早期帰国となりましたが、トリノを再訪できる日を楽しみにしています。

国際社会科学系 3年
平井香帆さん
(2019年度第2期
イタリア・トリノ大学へ協定留学)



留学生のためのイベント



7月13日(月)、国際センターでは学習院大学で学ぶ留学生を主な対象としてオンラインを使った寄木細工体験教室を実施しました。これは、例年5月に実施している留学生帰りバス旅行を新型コロナウイルスの感染拡大を受け中止したことに伴い、代替として企画したものです。

寄木細工体験教室(Web)の実施

体験教室には留学生7名と日本人ボランティア8名の計15名の学生が、午前の部と午後の部に分かれて参加しました。参加者は箱根の寄木細工職人の指導のもと、専門家がパーツを組み立てる様子を見たり、オンラインで質問したりしながら、美しいモザイクコースターを作りました。最後にスクリーンでお互いの作品を鑑賞し合い、記念撮影を行いました。新型コロナウイルスの影響で学習院の留学生と日本人学生が直接交流することはできませんでしたが、遠隔であっても一緒にコースターを作ることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。



茶道体験教室(Web)の実施 [霞会館教育助成金事業]

7月20日(月)の午前と午後に茶道体験教室を開催いたしました。学習院百周年記念会館の茶室「櫻風庵」と留学生10名・ボランティア学生7名の自宅をつないで、日本伝統文化である茶道を体験してもらいました。講師は国際センター職員の茶道有資格者が務め茶道の文化の説明やお点前を行い、その後留学生・学生が実際にお茶を点てて体験しました。



Japanese Language Preparatory Course(JLPC)2020の実施

国際センターでは、協定校から学習院大学へ協定留学を希望する留学生のうち、在籍大学で日本語の授業が開講されていない等の条件を満たす学生に対して、Japanese Language Preparatory Course (JLPC)を新たに開講し、日本語教育を提供しています。初開講となった今年は、フランスのParis Nanterre大学やノルウェーのNord大学から3名の学生が参加し、令和2年2月17日(火)から学習を開始しました。

JLPCは遠隔教育のPhase1とオンラインパス学習のPhase2の二段階からなり、Phase1ではe-Learningシステムを利用した自学と、週1回のオンラインレッスンによる約6ヶ月の遠隔教育を提供し、Phase2は協定留学開始直前にオンラインパスで実質的な日本語研修を実施します。

日本語を初めて学習する受講学生もいましたが、最初はあいさつや単語しかわからなかった人も、約6ヶ月間、e-Learningでの自学とオンラインレッスンでの教師との授業を続けた結果、初対面の日本人と20分

以上日本語で会話を続けられるようになりました。

※新型コロナウイルスの影響でPhase2の開催は中止となっています。

JLPCの開講により、学習院大学に留学したいと考える学生に、門戸を広げるとともに、受講によって留学をスムーズに開始できるようになることが期待されます。国際センターではJLPCなどの新たな取り組みと、従来からの特色である温かいサポートで、今後もこれまで以上にたくさんの国と地域から留学生をお迎えしたいと考えています。



オンライン日本語チャットルーム

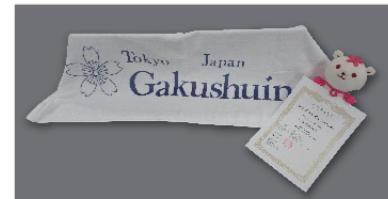
令和2年10月～翌年2月にオンライン日本語チャットルームを実施します。web会議ツールを利用し、オンラインで留学開始前の協定留学生と本学学生が日本語で会話をするイベントです。新型コロナウイルスの影響により、本学への留学が延期になってしまった協定留学生と、留学生との交流の機会を失ったり、留学が延期になってしまった本学学生との交流の場として国際センターが企画しました。

留学生にとって、チャットルームでの会話によって、本学への理解を深めたり、留学に向けて高めてきた日本語能力の維持ができた



2020年度第1学期 協定留学生の修了

7月30日(木)に、今年の1学期で留学を終了した協定留学生12名の修了証の授与式を行いました。例年は、協定留学生や彼らの留学生生活をサポートしてくれるパディ等の本学学生、また日本語授業の先生方をお招きしてフェアウェルパーティーを兼ねて行っていますが、新型コロナウイルスの影響により、今回は例年の形式ではなく、留学生の来室時間を個別に設定し、来室した学生に国際センター所長から修了証と記念品を授与しました。「コロナが収束したら、また皆で旅行に行きたい」「留学中にコロナ禍を経験したことを、貴重な成長の機会として捉えたい」と感想を残してくれた学生もいました。



2020年度留学フェアのお知らせ

や「質疑応答」「留学相談」を行います。留学経験者である本学学生が、留学先大学の様子や留学を通して得た貴重な教訓、日常生活から授業の様子までを紹介してくれます。その後、質疑応答や個別の留学相談を行います。「何故留学しようと思ったの?」「その国を選んだ理由は?」「語学力は通用した?」「授業はどの程度理解できた?」等々、どんな内容でも構いませんので気になる質問をぶつけてみましょう。

既に留学を決意している皆さんはもちろん、ちょっとだけ留学に興味がある方、留学経験者や留学生と話をしてみたいという方の参加もお待ちしています。

国際センターでは、留学や国際交流に関心がある学生が気軽に話を聞き、相談できるよう「留学フェア」を年2回(例年、第1回は6月・第2回は10月、昼休みから3限)開催しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインにて実施しています(事前予約制、通信料は各自負担のこと)。詳細は、国際センターホームページ、G-port及び掲示等で公示します。

留学フェアでは、協定留学経験者による「留学経験談紹介」